

令和2年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	高砂第1自転車駐車場ほか5施設(Dグループ 浦和区・南区)
(2)施設概要	<p>①所在地</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高砂第1自転車駐車場(浦和区岸町4丁目213番地10) ・高砂第2自転車駐車場(浦和区高砂1丁目189番地1) ・北浦和自転車駐車場(浦和区北浦和5丁目2番地1) ・武蔵浦和駅南自転車駐車場(南区沼影1丁目105番地1) ・武蔵浦和駅東口地下自転車駐車場(南区別所7丁目1535番地) ・武蔵浦和駅西自転車等駐車場(南区別所7丁目21番1号) <p>②施設の設置目的 自転車利用者の利便性を図るため</p>
(3)指定管理者	サイカパーキング株式会社
(4)指定期間、管理経費	<p>①指定期間 平成31年4月1日～令和6年3月31日</p> <p>②管理経費 平成30年度137,083千円、令和元年度120,855千円 (直近3か年) 令和2年度124,453千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運営業務の状況(利用状況含む) 自転車駐車場の利用許可や利用料金の収入及び還付に関する業務を行いました。 6月(利用が安定する時期)の利用状況は、令和元年度が5,701台/日、令和2年度が4,971台/日でした。</p> <p>②維持管理業務の状況 ゲートシステム設備保守点検業務、消防用設備点検業務、床等清掃業務、植栽管理業務、除草業務等、自転車駐車場の施設及び設備の維持管理に関する業務を行いました。</p>
(6)収支状況	<p>令和元年度</p> <p>①収入 利用料金: 185,331千円</p> <p>②支出 管理経費: 120,855千円</p> <p>納付金額(①-②): 64,476千円※納付金額は各種自転車対策事業費に充当</p> <p>令和2年度</p> <p>①収入 利用料金: 155,988千円</p> <p>②支出 管理経費: 124,453千円</p> <p>納付金額(①-②): 31,535千円※納付金額は各種自転車対策事業費に充当</p>
(7)利用者アンケート等による市民からの意見・要望等への対応	<p>自転車駐車場が入るビル管理施設組合及び住民からの要望により、出入口付近を乗車走行し入場する利用者への啓発として、ミラー設置及び啓発POPの貼付を実施いたしました。</p> <p>駅直結のペDESTリアンデッキ利用者からの要望により、ボール遊び等の禁止の注意喚起の掲示物を掲示すると共に、管理員による巡回頻度を増やして実施いたしました。</p>
(8)その他	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、貴市と協議のうえでアンケートの実施は見送りました。

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
管理室窓口にビニールカーテン設置	Dグループ全現場の管理室に、飛沫防止の観点から4月15日にビニールカーテンを設置しました
照明のLED化	武蔵浦和駅東口地下自転車駐車場の出入口の照明を5月23日にLED化しました
定期WEB管理システムの稼働	高砂第1自転車駐車場、北浦和自転車駐車場にて7月21日より稼働しました
投てき型消火剤の設置	場内火災発生時の緊急対応として、管理員でも操作が簡易な投てき型消火剤を3月1日にDグループ全現場の管理室に設置しました。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

Dグループとしては、新型コロナウイルスの影響により、年度を通して利用者数及び利用料金収入は減少しました。施設維持管理においては、計9件の修繕を実施いたしました。高砂第1及び北浦和駐輪場はWEB上にて定期申し込みが可能となるシステム(CSナビ)を7月より稼働することで、利用者と管理員との直接のやりとりを行う機会が減少し、施設内での感染拡大防止につながりました。あわせて、終電後など管理員不在時にも定期更新手続きが可能となり、利用者の利便性が向上しました。武蔵浦和駅南自転車駐車場では、ラック入れ替え工事後、更なる利便性の向上を目指し一部のラックを撤去し思いやりエリアを増設しました。結果、利用者自身で駐輪することが可能となり駐輪のしやすさが向上するとともに、利用者と管理員との接触機会が減少し、施設内での感染拡大防止につながりました。

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、現場管理員への集合する形での教育等の講習会は控えましたが、運営管理マニュアルを刷新し管理員教育を実施しました。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:都市局都市計画部自転車まちづくり推進課)

総合評価 **(B)** ※A~D

利用者への公平公正な対応、利用者サービスの向上、利用状況分析による臨機応変な現場対応、利用促進に努められていた。

適切な感染症対策の上で、十分な利用料金収入の確保に貢献した。

施設管理については、清掃や設備の点検を行うとともに、積極的に多くの施設修繕業務を行い、施設の維持管理に十分に努められていた。

定期WEB管理システムの導入は、利用者サービスの向上だけでなく、接触機会低減による感染症拡大防止にもつながった。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き、安心安全な施設の管理・運営に努められたい。